

学校教育目標	「夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったかハーモニー」 【知】自ら学び、しっかり考える子を育てます。 【徳】思いやりのある子を育てます。 【体】たくましい子を育てます。 【公】まちとともに生きる子を育てます。 【開】夢をもち、チャレンジする子を育てます。			
	創立 43 周年	学校長 河合 智樹	副校長 鎌田 忠裕	学期制 一般学級：12 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 368 人	主な関係校： すずき野中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	すずき野・あざみ野中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
意欲をもって学び続ける力 健康な心と体をつくろうとする力 よりよい自分を築こうとする力 多様性を認め協働する力 かかわりを求め喜びを共有する力	すずき野中 あざみ野中 荏子田小 黒須田小 あざみ野第一小 あざみ野第二小	○自分らしく、共に生き、社会に貢献する子 小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や小中教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育てる。 特に、すずき野中、嶮山小は二校合同の学校運営協議会等を通じて二校での連携を深め、「9年間で育てる子ども像」に沿った育成を進める。

中期取組目標	○「あいさつ」を軸に、地域とつながり、地域を大切に育てる児童を育成する。 ○すずき野・嶮山ネット、7校小中一貫教育推進ブロック、地域との連携を通し保護者、地域、関係の方々から信頼され、「まち」に愛着をもつ子を育てる。 ○「歯と口の健康づくり」「食育」を推進し、自分の健康を自分自身で作り出し、保持しようとする力をもった子を育てる。また、自他の存在の尊さを知り、確かな「生きる力」を身に付けていく。 ○児童が安全・安心に生活するために危機管理の整備、特別支援教育の推進、いじめの未然防止・早期解決を図る。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学校運営部	①状況に応じた有効な教育活動を全学年で追求し、共有・実践を進める。また、子どもはもちろん、保護者からの声もしっかりと受けとめ、共感的な支援を継続する。②「自ら考え判断し、自分の思いを表現する子」の育成と評価を目指すという視点を全教科学習の中心に据える。
徳 豊かな心 担当 学校運営部	①あいさつ、人権、道徳を核に人権週間、読み聞かせなどを通して情操面と創造力の育成を図る。②たてわり活動に加え、教室配置を意図的にペア学年にし、日常に交流できる環境を作り、コミュニケーション能力、思いやりの心の育成を図る。
体 健やかな体 担当 健康安全部	①「全国健康づくり推進校表彰」の受賞を励みに、これまで積み重ねた保健教育、安全教育、人権教育、食育等を総合的な健康教育として構築し、実践的な取組みとして推進する。②地域に積極的に情報発信し、地域の「健やか」をリードする。
公 地域学校協働活動 担当 学校運営部	①参加可能な地域行事が制限されるが、日常的に出会う学援隊の方々や教育ボランティア、来校者と快活な挨拶を交わすことで「社会に貢献する子」の素地を養う。②「フレンドくんの会」の活動やパトロール活動等を通して、地域に顔を知られる教職員を増やし、名実ともに「社会に開かれた学校」を目指す。
いじめへの対応 担当 児童指導委員会	①y-pアセスメントやアンケート、担任と児童の面談を利用して、悩みや課題の把握に努める。②「いじめの未然防止」を徹底し、児童支援専任への初期段階での報告や学年ブロックでの共有を通して、組織として子どもの安心と安全を守っていく。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 研究研修部	①学校で健全に職務を進めるために、週案や校務システム、情報共有ツールを生かして効率的な勤務計画を実現する。②教職員がやりがいと愛着と誇りをもって職務に取組み、学校を愛する気持ちをもてるよう、一人一人が輝ける機会を意図的につくる。また、学校運営に参画できる喜びややりがいを実感できるようにする。
特別支援教育 担当 特別支援コーディネーター	①教職員が全校児童の情報を共有する時間をもち、必要に応じてケース会議を開き、個別にも対応できるような環境を整える。②外部機関と連携したり、それを生かした授業の工夫や個別の支援をしたり、全体で情報を共有したりする。
児童生徒指導 担当 児童指導委員会	①児童の育ってきた背景(学校、家庭や地域等)を十分に理解し、早計な判断での指導を行わないように注意する。②「嶮山スタンダード」を自分たちの生活をよりよくするための拠り所と考え、一貫性のある指導を行う。また、S.C、SSWや家庭との連携を充実させて望ましい生活習慣の確立を目指す。
安全管理 担当 健康安全部	①児童自らが安全・衛生意識を高められるように、各クラスで安全な遊び方や掃除の仕方などを話し合う機会を設ける。②地震や風水害発生・不審者遭遇時に、自らの命は自らが守るために必要な状況を判断して適切に避難する力を身に付ける取り組みをする。
ICT活用 担当 研究研修部・嶮山塾	①一人一台端末等でのGIGAスクール構想推進のため、ICT活用を進めていく。②児童が学習の課題可決のために自ら調べたり、その中から必要なものを取捨選択したりする情報活用能力を育成していく。